庄内海岸林
再生プロジェクト通信　第７号

令和８年11月20日発行

庄内海岸林再生に向けた取組状況をお知らせします。

庄内海岸林の再生に向けた地域の力が結集中！

庄内海岸林応援基金への寄附に対し感謝状を贈呈



令和８年10月20日に株式会社山形銀行様から庄内海岸林応援基金へ100万円をご寄附いただき、11月16日に吉村知事から佐藤英司取締役頭取へ感謝状を贈呈しました。

寄附金は基金に積み立てられ、庄内海岸林の保全及び再生に係る活動への支援、その活動を支える機運の醸成等の施策に活用します。

寄附募集の詳細はこちら（県ＨＰ）をご覧ください👇

各部会の現在地 ～それぞれの検討事項に関する各種活動を展開中～

1 森林再生部会

■松枯れを防ぐ樹幹注入研修会を開催(11/11)

松くい虫被害の予防を目的とした「樹幹注入研修会」を遊佐町の海浜自然の家で開催しました。樹幹注入の適期である11月～3月に合わせ、庄内森林管理署や市町、森林組合、林業事業体などが参加して、樹幹注入剤の使用方法等を学んだ後、現地で実習を行い、注入の正しい手法を習得しました。

なお、樹幹注入剤の購入や施工に関しては、お近くの森林組合にお問い合わせください。



（樹幹注入の実習の様子）

■ 民有保安林の機能回復のための10か年計画を策定しています

庄内海岸林の模式図



（沿岸部）

県ではプロジェクト会議の一環として、民有保安林の機能を回復させるため、「10か年計画」の策定を行っています。

本計画では、現状分析を踏まえ、抵抗性クロマツの導入や広葉樹の活用など、防風・防砂機能を残しつつ、効果的に整備する方法を示します。

10月6日には関係者や学識経験者による検討会議を開催し、今後の調査方針などの意見交換を行いました。来年１月には第２回検討会議の開催を予定しています。

保安林（ほあんりん）とは、水源のかん養や土砂の流出・崩壊防止、飛砂（ひさ）や風害を防ぐといった「特定の公共目的」を達成するために、国や都道府県によって指定される大切な森林です。
庄内海岸林では、飛砂防止を目的に、沿岸部と砂丘の丘頂部の森林が指定されています。

松くい虫被害木の倒木にご注意ください

松くい虫被害木は強風や積雪で倒木・枝折れしやすく、住宅や道路、農業用ハウス等に被害を及ぼす恐れがあります。冬期は特に危険なため、枯れたマツには近づかないようご注意ください。

2 出羽庄内公益の森づくり部会

◆庄内海岸林サポーターを募集しています

山形県では、プロジェクトの趣旨に賛同し、保全・再生活動に取り組む団体、または支援する団体等を「庄内海岸林サポーター」として募集しています。10月末現在、以下の11団体からご登録いただいておりますので、ご紹介します。

庄内海岸林サポーターの登録状況（R8年10月末現在）

名　称（所在地）※アイウエオ順	活動内容
○株式会社 アライドマテリアル酒田製作所（酒田市）	森林整備・学習会
○合同会社 ウッドラック（庄内町）	森林整備・学習会
○花王株式会社　酒田工場（酒田市）	森林整備・学習会
○砂丘地砂防林環境整備推進協議会（遊佐町）	森林整備・学習会
○庄内海岸林のクロマツ林をたたえる会（酒田市）	森林整備・学習会、広報・普及啓発
○株式会社 荘内銀行（山形市）	森林整備・学習会、広報・普及啓発
○第一物産株式会社（酒田市）	寄附で支援
○万里の松原に親しむ会（酒田市）	森林整備・学習会、広報・普及啓発
○特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク（大阪市）	森林整備・学習会、広報・普及啓発
○株式会社 メカニック（酒田市）	寄附で支援
○株式会社 山形銀行（山形市）	寄附で支援

アイコン説明

- 森林整備・学習会
- 寄附で支援
- 広報・普及啓発

サポーター募集の詳細はこちらから👉

プロジェクトの詳細はこちらから👉

活動事例紹介





サポーターに登録いただいた花王株式会社 酒田工場のみなさんが酒田市立十坂小学校の５年生を招き、酒田市大浜の「花王の森」で植林活動を実施しました。

今回は段ボール製の組み立て植栽ポットを使って抵抗性クロマツ、カシワ、タブ、合計30本の植樹を行いました。児童一人ひとりが容器の組み立てから取組み、外側にはメッセージも記入しました。大きくなあれ！

（11月11日 花王株式会社 酒田工場様による植林活動）

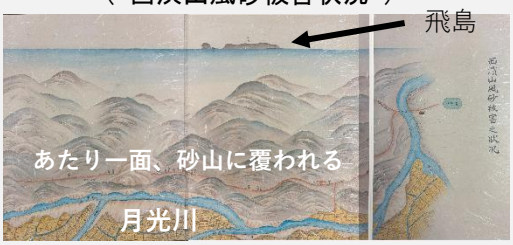
【連載】庄内海岸林の歴史① ～砂丘の成り立ちと中世以降の荒廃～

庄内海岸林は、日本有数の砂丘地の上に、人工的に造成されたクロマツを中心とする森林です。しかし、酒田市黒森において、古いクリやナラの根株や倒木が発見されたことから、かつては広葉樹に覆われた森林であったことがわかっています。

ところが、中世以降、戦乱や製塩用の薪の採取によって森林が失われ、さらに内陸部の開墾などに伴う土砂の流入で砂丘が発達しました。

その結果、江戸時代前期には草木も生えないほど荒廃し、住民の生活が強風や飛砂におびやかされるようになりました。　（つづく）

「曽根原家名子十四名松植付之図」より
（ 西浜山風砂被害状況 ）



現在の遊佐町菅里付近　1700年代の姿

■発行■　庄内海岸林再生プロジェクト会議
出羽庄内公益の森づくり部会広報チーム
〒997-1392　山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19番１号
山形県庄内総合支庁産業経済部
E-mail：yshonaishinrin@pref.yamagata.jp

山形県ホームページ　庄内総合支庁 Instagram　庄内総合支庁 Facebook